

大学と キャリア教育について

滋賀大学長 成瀬 龍夫



近年、日本の大学は国公私立を問わず学生諸君へのキャリア教育に力を入れており、本学もまた例外ではない。ただし、よく耳にしながら意味の分かりづらいのが、この「キャリア」「キャリア教育」という言葉であろう。学生諸君の中には、「キャリア組」といった言葉が国家公務員のⅠ種試験に合格した幹部候補生に用いられるので、これはエリート養成教育のことだと理解している者がいるかもしれない。あるいは、よく「キャリア・アップ」といった言葉を耳にするので、これは専門的資格の取得や、より上級の資格にチャレンジするために特別な訓練を受ける教育ではと思っている者も多いであろう。

Careerは、日本語では「経歴・職歴」と訳されるが、どうもニュアンスに欠けるので、近年ではカタカナ英語が使われることが多い。The Oxford English Dictionaryによると、“A person's course or progress through life” すなわち「人生の進路」というのがその基本的意味であるが、現代的ニュアンスでは、“A course of professional life or employment, which affords opportunity for progress or advancement in the world.”つまり、世の中で出世や成功の機会を与える職業生活や雇用の進路、という意味で使われている。言い換えると、若い世代の人々がしっかりとした労働観と職業的能力、技能を身につけ、社会へ出て充実した職業生活をおくることによって人生の成功者となるといった意味で理解してよい。

キャリア教育の重視は、わが国の教育政策上の重要課題の一つともなっている。1999年に中央教育審議会答申は、キャリア教育について「望ましい職業観・勤労観、職業に関する知識・技能、進路選択に必要な能力や心構え」を身につけてもらう教育と定義した。

キャリア教育重視の背景には、進学率上昇に伴い大学が一部のエリートのための場でなくなり、大量の卒業生を職業人として世に送り出すための教育に本格的に取り組むことが、大学の社会的責任として大きくなったことがあげられる。また、若者のフリーターやニートが問題になっているが、学生諸君の進路選択の悩みや不安を解消し、確かな人生設計意識や職業観をもってもらえる必要が高まってきたことがあげられる。こうしたことから、キャリア教育は、以前の就職指導と性格を大きく異にしており、「就職支援からキャリア支援へ」「会社選択から生き方支援へ」といわれるようになってきているのである。

目次

学長からのメッセージ	大学とキャリア教育について	2
特別企画 座談会(第Ⅰ部)	滋賀大生に期待すること	3
特集 経済学部 <i>de-Education!</i>	連載 今の研究を語る	20
経済学部カリキュラムのねらいと可能性	海外研究報告	22
陵水学習教育支援室と授業評価アンケートについて	留学体験	23
特集 湖上体験学習	クラブ・サークル紹介	24
調査艇による湖上体験学習	近江の散歩	26
	トピックス	27